

貧酸素水塊速報 (2009年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 【協力】 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
 国立環境研究所
 (今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成21年7月21日観測結果

強い南偏風の連吹がやや治まり、内湾北部の底層は再び貧酸素化しました。特に、千葉港沖は酸素量 0.5ml/L以下とほぼ無酸素であり、強く貧酸素化していました(図1)。一方、内湾中央部は、酸素量 1ml/L以下の水塊が中層(水深 15m付近)に分布したため(図2)、底層の貧酸素化はやや弱まりました。底層と中層の貧酸素水塊を合わせると、その規模は 30%以上を示し、引き続き例年以上の規模で推移しています(図3)。

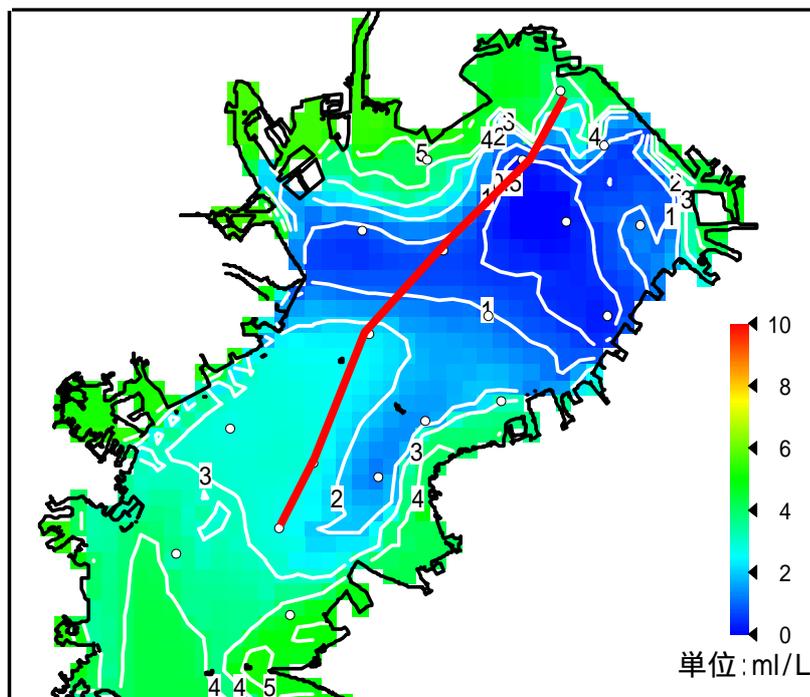


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

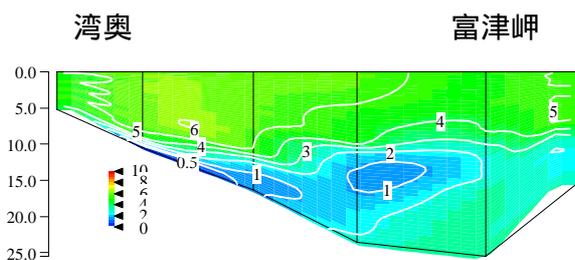


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

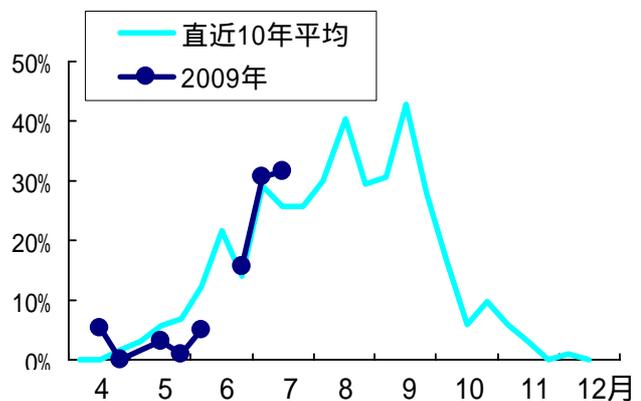


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)